

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（法制基礎研修コース第1期）

佐賀県 総務部法務私学課 樋口 大樹

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1. はじめに

法制基礎研修コース第1期（令和8年5月22日～6月11日）を修了し、通常業務に戻って研修期間と同じ3週間という時間が早くも経過したことに驚きつつ、自治大学校で過ごした日々を懐かしく思うところです。

日々の講義や効果測定は決して楽なものではありませんでしたが、講義で得ることができた知識が早速業務に活かされたこともあり、その一つ一つが今振り返ると確かな学びとして自分の中に積み重なっていると感じています。

結論としては、本コースは法制部門担当者向けに限定されたものではなく、年齢を問わず、自治体職員として知っておくべき知識・法的素養を短期間で修得できるものでした。

2. 入校までのこと

庁内に前身となる法制集中研修にこれまで参加した者がおらず、人事担当部局においても法制基礎研修コースに関する情報をほとんど有していなかったことで、先入観なく研修に臨むことができたように思います。

良い意味では、事前学習に真摯に取り組めたことを挙げたいと思います。法律については初学者ではありませんでしたが、講義レベル、効果測定の過去問、周囲のレベル感などもわからず、研修中に恥をかかないようにとの一心で、時間を見つけてはeラーニングを進めることがで

きました。

また、研修期間が3週間で済むとはいえ、定例県議会へ向けた業務が多忙を極める中で抜けることとなり心苦しく思っていたところ、上司、係員から壮行会まで開いて送り出してもらえたことには感謝しかありません。

3. 法制基礎研修コースの講義等

まず参加者についてですが、本コースとして集まったメンバーは女性3名と男性2名の計5名と少人数で、しかも女性は第1部・第2部特別課程受講者であったため、記念すべき第1期の法制基礎研修コースのみの参加者は男性2人でした。当初寂しくも思いましたが、その後、第2部課程第211期との合同開催であることを知り、実際に全国から集まった多くの方と交流できたことで、その懸念は解消されました。

講義は、憲法、行政法、民法、地方自治制度、地方公務員制度及び地方税財政制度の6科目にわたり実施されましたが、個人的には、これまで体系的に学ぶ機会がなかった地方自治制度、地方公務員制度及び地方税財政制度の修得を主な目的として受講しました。これらの分野については、これまで業務の中で必要に応じて要点をかいつまんで理解してきたために、知識が断片的であるという自覚がありました。いつかは腰を据えて学び直さなければならないと感じつつも、まとまった時間や精神的な余裕を確保することが難しい中で、業務から切り離された3週間という期間に、基礎的なところから集中的に学ぶことができたことは、大変

貴重な機会であり、自治大学校で学ぶ大きな意義であったと考えています。

効果測定については、想定問題の作成など、周囲からの支援が非常に大きく、改めて感謝しています。結果については現時点ではまだ知らされていませんが、何とか乗り切ることができたのではないかと安堵しているところです。

4. 日々の生活

私が入寮した洗心寮8階は、同年代の男性ばかりという環境だったこともあり、早々に自然と打ち解けることができました。皆で夜な夜な立川の美味しいものを巡ったり、談話室で各地の銘酒と逸品に舌鼓を打ったりと、学生時代に戻ったかのような錯覚を覚えるほど楽しい日々でした。その一体感は、講義や効果測定に向けた対策でも大いに活かされました。

入校日のオリエンテーションで「仲間との交流も大切に」と助言をいただきましたが、その言葉を実践し、大変有意義な時間を過ごすことができたのではないかと感じています。



また、講義のない土日を中心に、東京方面でかねてから訪れたいと思っていた場所を数多く巡ることもできました。江ノ島、鎌倉、三鷹の森ジブリ美術館、東京十社巡りなどの御朱印集め、加えて、横浜アリーナでのBリーグファイナルの観戦、会う機会の少なくなった高校や大学の同級生と再会し、近況を語り合うこともできました。

このように各地を巡ることができた要因として、立川という立地の良さと交通の利便性が大きかったと思います。

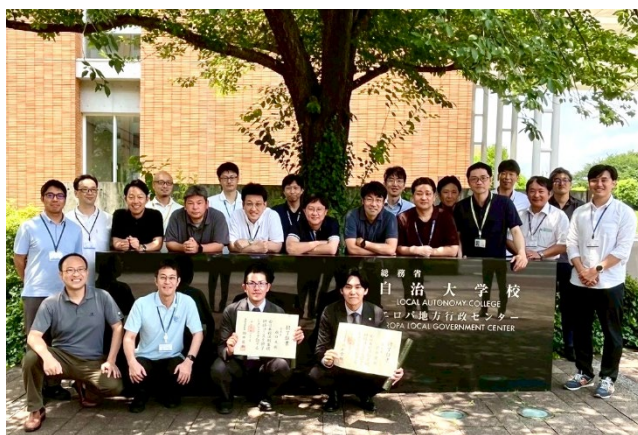


5. おわりに

今回、法制基礎研修コース第1期に参加できたこと、そこで多くの仲間を得られたことは、何ものにも代えがたい財産となりました。加えて、講義で得た知識を業務に活かしている実感があることも大きな収穫です。

近年では、行政職であっても法律科目を課さない採用試験で入庁する職員が増えていると聞いており、そうした職員にとっても、基礎的な法律知識や公務員としての素養を身に付ける上で有益であると感じました。

今後、本コースへの受講者が増え、多くの皆さまの研鑽の機会として広く活用されることを期待しています。



修了式後に洗心寮8階の仲間たちと。感謝！